

赤潮予報 R6-7号

令和7年1月9日
水産試験場漁場環境研究部

1 伊勢湾（調査日：1月6日）

(1) 現況

赤潮は確認されませんでした。

表層のクロロフィルaの平均は0.9 $\mu\text{g/L}$ で、平年（過去5年平均、以下同様）を下回りました。

表層の平均水温は12.1 $^{\circ}\text{C}$ で、平年並みでした。

表層の栄養塩類の平均は、窒素は平年を下回り、リンは平年並みでした。

(2) 予測（予測期間：1月中旬～1月下旬）

〔赤潮〕発生する可能性は低いでしょう。

〔栄養塩〕横ばいで推移するでしょう。

気象庁の予報によれば、向こう一週間の降水量は少なく、気温は平年並みで推移すると予想されています。降雨による栄養塩の供給は少ないと考えられます。プランクトンの現存量も少なく、しばらくは強風が予測されるため、栄養塩は横ばいで推移すると考えられ、赤潮に至らないでしょう。

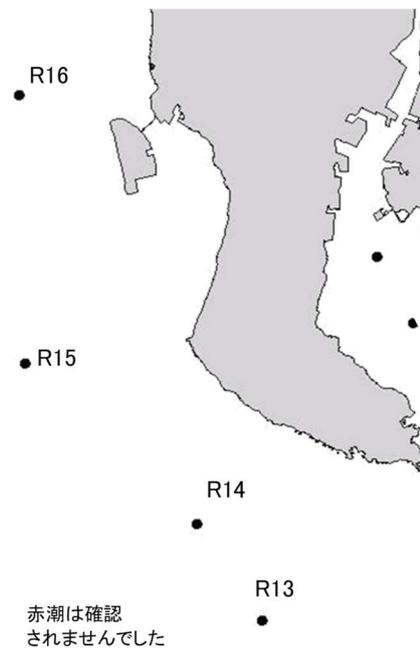


図1 調査点及び赤潮発生海域

表1 令和6年1月6日赤潮調査結果（伊勢湾）

		採水層	水温 $^{\circ}\text{C}$	塩分	アンモニア $\mu\text{g/L}$	亜硝酸 $\mu\text{g/L}$	硝酸 $\mu\text{g/L}$	三態窒素 $\mu\text{g/L}$	リン酸態リン $\mu\text{g/L}$	クロロフィルa $\mu\text{g/L}$
伊勢湾	R13	0m	12.7	33.2	13.6	4.2	27.0	44.8	8.2	0.8
		5m	12.7	33.2	10.8	4.2	27.9	42.9	7.8	0.8
		底層	13.3	33.4	14.6	3.6	24.3	42.5	6.8	0.7
	R14	0m	12.6	33.2	17.5	3.5	25.0	46.0	8.2	1.0
		底層	13.0	33.3	14.8	4.0	28.0	46.8	7.7	0.8
	R15	0m	11.4	32.2	24.4	4.0	23.1	51.5	8.7	0.7
		底層	12.5	32.9	27.3	4.1	28.4	59.8	10.8	0.6
	R16	0m	11.7	31.9	36.3	5.1	34.5	75.9	11.3	1.1
底層		13.0	33.0	27.6	6.0	25.5	59.2	9.8	0.8	
平均			12.1	32.6	23.0	4.2	27.4	54.6	9.1	0.9
(平年値)	0m		(12.1)	(32.3)	(24.2)	(10.4)	(41.0)	(75.6)	(9.6)	(4.7)
(前回)			(14.4)	(32.4)	(12.0)	(6.3)	(11.1)	(29.4)	(5.7)	(4.2)

2 知多湾・渥美湾（調査日：1月6～8日）

（1）現況

赤潮は確認されませんでした。

表層のクロロフィル *a* の平均は知多湾 1.5 $\mu\text{g/L}$ 、渥美湾 9.6 $\mu\text{g/L}$ で、知多湾、渥美湾ともに平年を下回りました。

表層の平均水温は知多湾 10.6 $^{\circ}\text{C}$ 、渥美湾 8.2 $^{\circ}\text{C}$ で、平年比べて知多湾は 0.4 $^{\circ}\text{C}$ 低く、渥美湾は 0.3 $^{\circ}\text{C}$ 低くなっていました。

表層の栄養塩類の平均は、知多湾では窒素、リンともに平年を上回り、渥美湾では窒素、リンともに平年を下回りました。



図2 調査点及び赤潮発生海域

（2）予測（予測期間：1月中旬～1月下旬）

〔赤潮〕知多湾：発生する可能性があるでしょう。渥美湾：発生する可能性は低いでしょう。

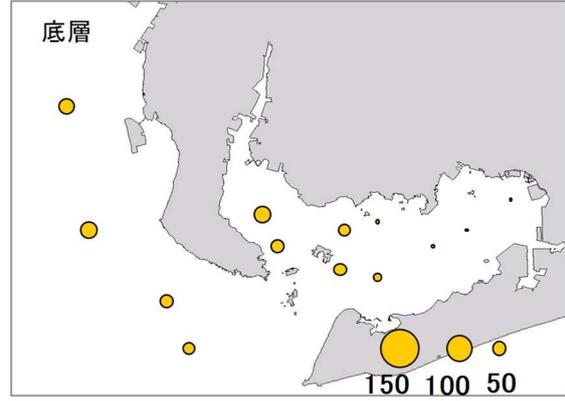
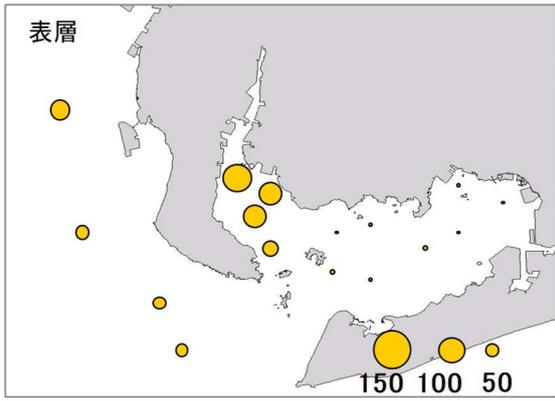
〔栄養塩〕減少するでしょう。

気象庁の予報によれば、向こう一週間の降水量は少なく、気温は平年並みで推移すると予想されています。降雨による栄養塩の供給は少ないと考えられるため、プランクトンの消費によって栄養塩は減少すると考えられます。知多湾では栄養塩が平年に比べて多く、ユーカンピアをはじめとした珪藻類が増加傾向にあるため、赤潮が発生する可能性があるでしょう。渥美湾では珪藻類は多いものの栄養塩が少ないため、赤潮には至らないでしょう。

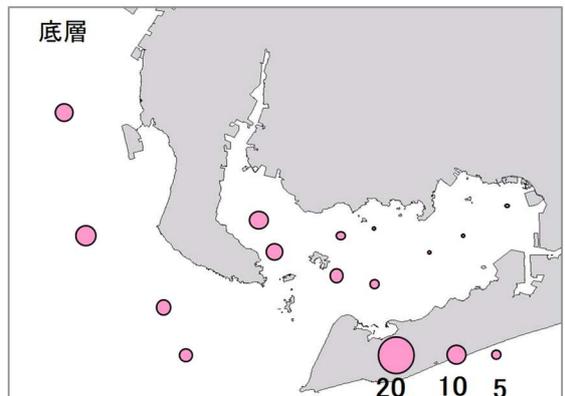
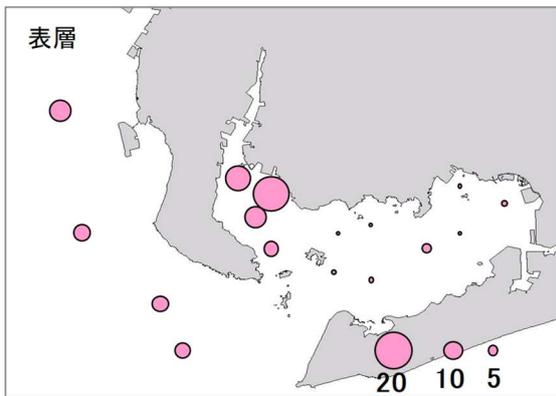
表2 令和6年1月6~8日赤潮調査結果（知多湾・渥美湾）

		採水層	水温 °C	塩分	アンモニア μg/L	亜硝酸 μg/L	硝酸 μg/L	三態窒素 μg/L	リン酸態リン μg/L	クロロフィルa μg/L
知多湾	R8	0m	10.6	32.1	33.4	4.3	49.7	87.5	11.9	0.6
		5m	10.6	32.1	34.6	4.9	48.7	88.1	11.8	0.6
		底層	11.2	32.6	27.8	3.8	33.2	64.8	9.7	0.6
	R9	0m	10.9	32.1	34.3	4.5	50.6	89.4	19.4	0.8
	R10	0m	11.1	32.1	39.2	5.0	63.5	107.7	13.1	0.9
	R11	0m	9.7	31.8	17.8	4.0	35.6	57.4	7.9	3.6
	底層	11.3	32.7	18.3	3.8	26.3	48.4	8.6	0.8	
平均 (平年値) (前回)	0m	10.6 (11.0) (11.7)	32.0 (32.2) (32.0)	31.2 (18.3) (16.3)	4.5 (5.4) (5.8)	49.9 (33.3) (20.9)	85.5 (57.0) (43.1)	13.1 (7.7) (7.2)	1.5 (8.4) (3.5)	
渥美湾	R1	0m	7.4	30.6	4.9	1.2	1.9	8.0	1.6	19.7
		底層	7.5	30.4	3.6	1.6	2.3	7.5	2.3	18.8
	R2	0m	7.5	30.4	5.4	1.4	2.1	8.9	1.5	19.3
		5m	8.2	31.2	5.4	1.2	2.3	9.0	1.6	14.5
		底層	8.2	31.2	5.9	1.4	2.4	9.7	3.2	15.1
	R3	0m	8.2	31.2	4.9	1.2	2.6	8.7	1.5	14.4
		5m	8.1	31.1	8.2	1.6	6.1	15.9	4.7	5.7
		底層	8.8	31.4	4.8	2.0	2.9	9.6	1.4	10.0
	R4	0m	8.1	30.7	5.4	1.6	2.4	9.4	1.3	7.4
		底層	8.9	31.5	5.0	1.9	7.2	14.1	1.5	17.0
	R5	0m	8.1	30.7	5.4	1.6	2.4	9.4	1.3	7.4
		底層	8.9	31.5	5.0	1.9	7.2	14.1	1.5	17.0
	R6	0m	8.8	31.5	5.6	1.7	2.7	10.0	2.2	3.5
		底層	9.9	32.0	16.9	3.0	12.5	32.4	4.8	1.6
	R7	0m	8.7	31.4	4.9	1.3	2.2	8.4	1.3	5.5
5m		8.8	31.5	5.5	1.6	2.7	9.7	1.3	5.6	
底層		9.8	31.9	15.2	3.8	23.0	41.9	4.3	8.7	
R12	0m	8.8	31.6	7.7	2.1	3.7	13.4	2.0	1.8	
	5m	9.4	31.8	11.0	2.4	5.2	18.6	2.9	1.1	
	底層	10.5	32.3	20.3	3.5	24.3	48.1	7.1	0.7	
平均 (平年値) (前回)	0m	8.2 (8.5) (9.2)	31.1 (31.2) (30.7)	5.7 (15.6) (32.7)	1.5 (2.5) (12.8)	2.9 (11.5) (24.8)	10.2 (29.6) (70.3)	2.1 (5.0) (4.8)	9.6 (13.0) (4.6)	

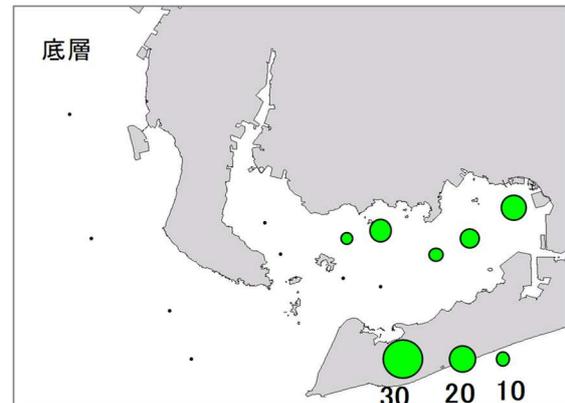
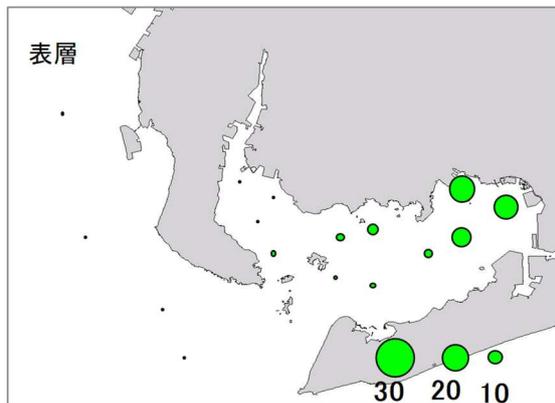
・クロロフィルとは植物プランクトンの色素のことで、相対的なプランクトン量が分かります



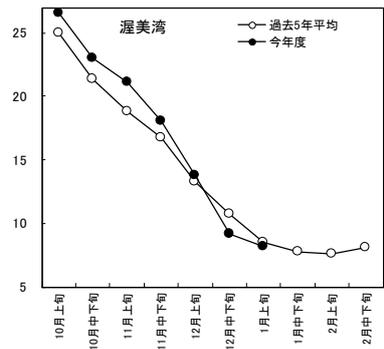
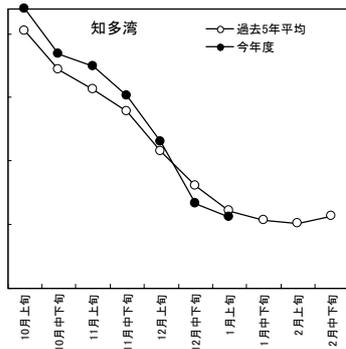
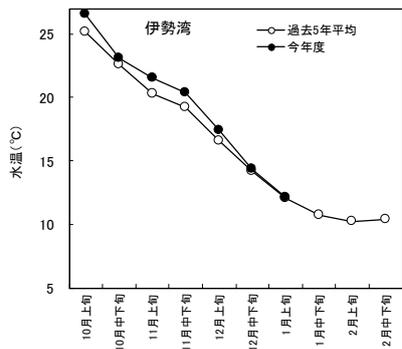
三態窒素の分析結果(μg/L)



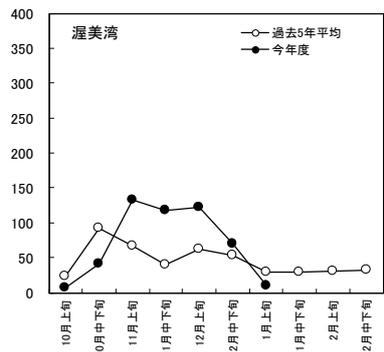
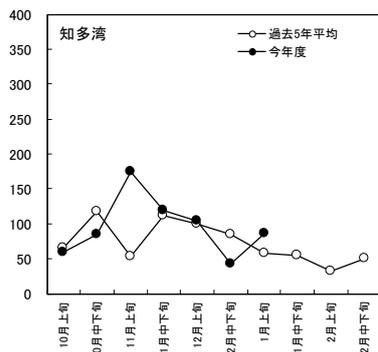
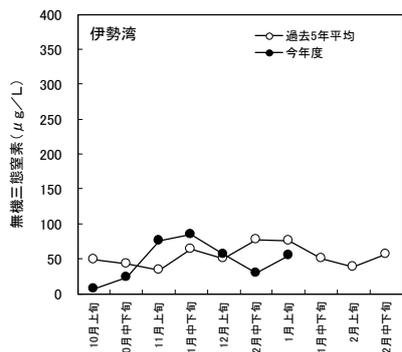
リン酸態リンの分析結果(μg/L)



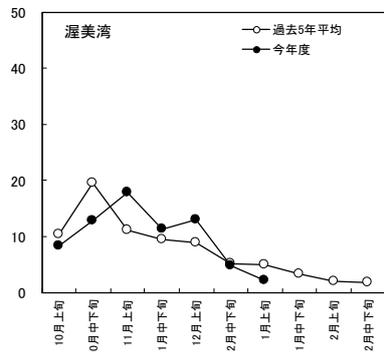
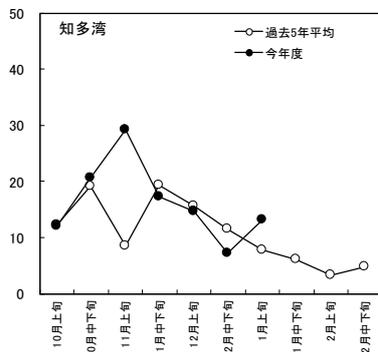
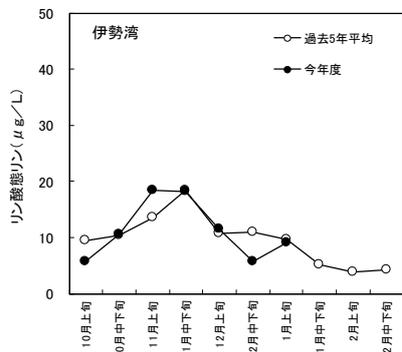
クロロフィルaの分析結果(μg/L)



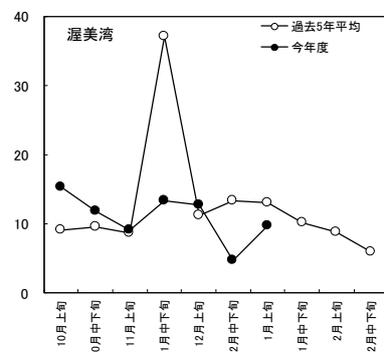
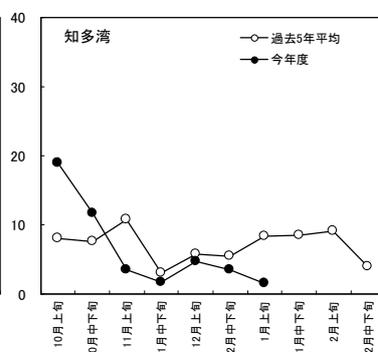
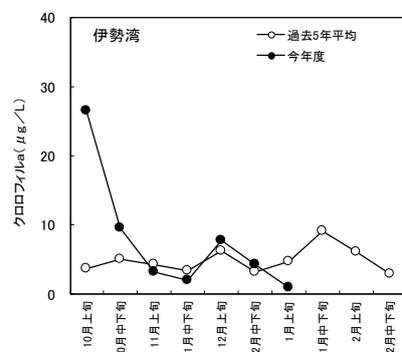
各湾表層の平均水温の推移



各湾表層の三態窒素の推移



各湾表層のリン酸態リンの推移



各湾表層のクロロフィルaの推移